

令和 6 年度 岩手県立大学宮古短期大学部
学校推薦型選抜・社会人選抜

小論文 解答例・出題の意図等

【問題全体についての出題の意図】

読解力・思考力・表現力を総合的に評価する。出題文に登場する「対話型 AI（人工知能）」について、その活用のメリット・デメリットの双方の側面から問題を理解し、設問の趣旨に沿って自分の意見を論じることが求められる。

〔問 1〕

■解答例

精度の高い文章を生成できる対話型 AI（人工知能）を活用する動きが広がっている。その活用により、ビジネス面では文書作成や顧客との相談業務など、企業では業務の効率化や新事業創出につながる可能性がある。その一方で、著作権の侵害や情報漏洩のリスクもある。教育現場では、子どもたちが自ら考えて文章を作成する能力が失われる可能性もある。想定されるリスクを検証しながら、日本でも法規制などの検討を急ぐ必要がある。(203 字)

■評価のポイント

出題文で取り上げている対話型 AI（人工知能）に対するメリット・デメリットを出題文から適切に要約し、それぞれの内容について適切に表現できることが求められる。

〔問 2〕

■出題の意図・ポイント

出題文にある対話型 AI（人工知能）の活用の危険性に対して適切に理解し、その危険性をどのように克服し、適切な活用につなげていくのかを、身近な例を挙げながら、自分なりに考えたことを適切な文章で表現できているかが評価のポイントとなる。その際、明瞭な論旨を持って、論理的かつ説得力のある文章で述べられていることも問うている。